
愛を知らなかったヒト。

りす君

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛を知らなかったヒト。

【Nコード】

N5102B

【作者名】

りす君

【あらすじ】

“愛なんてクソさ”と思っていた主人公は、高校の屋上から飛び降り自殺をしようとしていた…

(前書き)

2月の行事といえは…そうあの日。

風がなびく…

この景色を見たのも何回目だろうか…

周りは誰もいない事を確認して…

（ガシャ…）

さて…上履きと遺書を下に置いて。

風が強い…

深呼吸して…

（ザリ…）

あと一步で逝けるんだ…

さよなら親父…お袋…今まで苦労ばかりかけてしまつて…本当にごめんなさい。

じゃ、お元気で…

(ボタンっ)

「チョット待ったあ!!」

誰だ? 誰だとしても今は邪魔モノに変わりはない。

「来るな! 最期は、一人で逝きたいんだ。」
「そんなの…私は許さないっ!」

……。何、言つてんだアンタ? アンタには関係ないのに、何故アンタに自殺するのを止められなきゃならないんだ?

「…アンタが何を言おうと、俺は前から決めてんだ。今日、この屋上から飛び降りる…ってな。」

「アナタが本当に自殺する気があるなら…私は力づくで阻止するわ。」

フツ…馬鹿な奴。俺を阻止できるわけ……………っ?!

「テヤッ!!!」

(バゴッ!!)

「グオッ!!!」

意識が遠のいていく……………

「…いい、おーい大丈夫う？」

大丈夫…ってか、元はと言えばアンタがやったんだろ？
ここは…保健室か？

「ふう…やっと気が付いたみたいね。」

「…何故、止めた？…そういやアンタ、生徒会長の小林^{こはやし} 亜弥^{あや}じゃ
ねえか。」

「うんっ！だから止めたの。」

…理由になってねえけど。

フツ…どうせ、自殺者なんか出たらこの学校の評価が下がっちゃう
から止めたんだろ？下らねえ！！

「…て、言うのは嘘で。ジャーン！！」

何だ…その紙袋は？

「今日、何の日だか知ってるう？」

…今日？さっぱり解んねえ…。

「んもう、じれったいなあ！こおれっ！」

薄い板状のモノ…まさか？

「自殺を止めてあげたんだから食べてよネっ！」

お、おい！…って、行っちゃったよ。ったく…まさかと思うが、一

応開けてみるか。

（ガサゴソ…）

やはり…

そんなかに入っていたモンは…

（せつ薛君、愛してる…）

と、一文だけ書かれた彼女の手作りかもしれないチョコレートが入ってあった。

彼女のチョコじゃなくて…その一文。それで俺は衝撃を受け、自然に目から涙が溢れてきたんだ…

今まで親にも愛されず虐待され続けた俺は、“愛”なんてクソだと思ってた。
けど…これで解った事がある。

生きてる人間は、必ず誰かに愛されてる…という事を。

それを解らせてくれた彼女に悪いと思うようになり、俺は二度と自殺を考えなくなった…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5102b/>

愛を知らなかったヒト。

2010年12月18日21時04分発行